

手をつなぐ

題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2019年7月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 eメールshiga.minken@gmail.com
 HP:http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

高校は民間教育産業の餌食に?! 教育は人と人との営みだ。

黄之瀬伸子 滋賀高教組書記長

今年度に入って3回ほど他府県の高校の様子を聞く機会があった。そこで何度も耳にしたのは、日本中の高校でもいべき実態である。いわく、中3生に業者テストを受けさせて高1のクラス分けに使っている。業者社員による研修会を開催し、継続的に同社の模擬試験・学力試験を実施する。業者模試に合わせて授業進度を決めている。模試の前1〜2週間は模試の過去問を課題としてさせている。1年生でeポータルフォリオのソフトをスマホ登録し卒業まで使う。英語の4技能対応としてリスニングだけでなく業者のスピーキングテストも実施する・・・

今年度「学びの基礎診断」が導入され、2020年度入試からはセンター試験に代わる「大学入学共通テスト」が強行される。学びの基礎診断の診断ツールは民間に丸投げ、共通テストの英語は4技能に対応している民間の資格・検定試験に頼ることになった。

今や、国の教育政策は文部科学省ではなく、塾や受験産業の管轄官庁である経済産業省が担っていると言われる。昨年度版の『ものづくり白書』で経産省は「Society 5.0の実現に向けた教育・ものづくり人材の育成」を発表した。今年5月には政府の教育再生実行会議が「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」を提言した。そこではSociety 5.0という、超スマート社会に対応できる『人材』育成とそのための環境整備のため、盛んに産業界との連携が説かれている。「これからの教育にとってICTがマストアイテムであり、遠隔教育・デジタル教材などの技術革新すでに教育産業が提供を始めている『公正に個別最適化された学び』をより進めることが重要である」と。あからさまに民間教育産業が公教育に介入する方向だ。

教育は産業界のためにあるのではない。教育とは人と人との営みだ。模試

対策や受験のために、パソコンの前に座って点数を取らせるための対策をすることは教育ではない。ITやAIが子どもの心に、子どもの悩みに本当に向き合ってくれるだろうか？人が人とつながり、社会とつながり成長していく。教育産業に振り回されるのではなく、目の前の生徒と向き合う、人と人との教育を見失わないようにしたいと思う。

(きのせのぶこ)



《 今月の紙面 》

- ・【巻頭言】高校は民間教育産業の餌食に?!教育は人と人との営みだ・・・P1
- ・第32回滋賀民研総会開催・・・P2.3
- ・【記念講演】発達障害児の研究と支援から考える今日の学校と教育学の問題 /窪島 務・・・P4.5
- ・N君にとって意味ある世界を広げる教師のはたらきについてー総合的学習「八まんキラリたんけんたい商店街編」の実践/西野雄一郎・・・P6.7
- ・2019年度役員・活動予定・・・P8